

本日は役員議員任期満了に伴い、臨時議員総会を開催させて頂きました所、公私共に忙しい折と存じますが、会場一杯のご出席を頂きありがとうございました。

先ほどの会頭選任につきましては、会頭選考委員会より、私、秋元を選考の上、推薦を頂き、皆様方ご承認を賜り、5 期目の会頭を務めさせていただく事となりました。皆様ありがとうございました。

これからは与えられました 3 年間、皆様方のご期待にそむかぬ様、今まで以上の一層の努力を致して参りますので、ご指導、ご支援の程、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

なお、副会頭には鈴木喜好さん、真木好朗さん、田中伸之介さんを指名させて頂き、ご承認を頂きました。

アベノミクスの推移の中で懸念されることは、規制緩和等によって、大企業、大型店に光が多く当たり、地方中小零細業界には大きな影を作るのではとの心配があります。現に隣の韓国では、リーマンショック以後いち早く大幅な金融緩和をしてデフレ不況から脱却いたしました。大企業優先政策によって若年層の就職は 7 万人も縮小し、リストラは 53 万人と多く、職を失った中高年の人達は 43 万店もの自営業を始めて生活を補い、自殺者も多発していると伝えられております。アベノミクスもまたこうした格差社会を生む危険性を多分に持って居ります。

私達の会議所はこうした光と影の格差社会の無い、バランスのとれた君津市の中小零細業界商店街を再生させ、次の後継者へと継承する役目があります。そのためにも清和、小糸、上総、小櫃、君津それぞれの地区内の隅々までの慣習、事情を良く知り、行動され、まとめられる人をと 3 人の副会頭を指名させて頂きました。

これからは会頭以下役職員、良く足を運び、すべての会員達とお会いできる様務め、要望、悩み等に対致して参りますので、そちらからも是非声をお掛け頂きたい。

もっと定住人口を増やせとの声もありますが、自然増は賛成ですが、デベロッパー等による多力本願による人口増は、大型店の誘致も伴って地元商店街をかえって疲弊させる例が多いのが現状であります。

幸いにこの地域は 3,300 万人の観光流入人口があります。商人は魅力ある店を作って人を集めることが仕事であり、座して待たず、出て行って魅力あるサービスを提供する事によって、利益は生まれるものであります。自分達の街は自分達で守る心意気が必要であります。

中小零細業の生き残りの最大の条件は後継者であります。

日本の倒産廃業の 80% は後継者がいないからであります。幸い私達の会議所は女性会、青年部合わせ 200 名を超える会員があり、これは県下断トツ 1 位であります。この事は君津の中小零細業の方々がまだまだ魅力ある立派な経営をされているとの証明であります。

新しい房総の商工業者は従来の考え、方法を超えて誇りと自信を持って、恵まれた天の時、地の利を生かして観光を中心に飲食、サービス、工業、行政、農協、そして君津製鐵所とさらには 4 市+市原、館山と連携してアベノミクス効果を味方につけて先手、先手で議論より実行する 3 年間にしたいと願っております。

会議所は何もしてくれないのでなく、会議所と言う組織をどう使うかを考えて下さい。